

2017年12月13日

第48号

全労連

全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

12・8武器はいらない 核はいらない 全国母親連鎖行動 全国各地で、赤紙チラシを配り、3000万人署名訴える

日本母親大会連絡会では、毎年、12月8日に、「武器はいらない 核はいらない 全国母親連鎖行動」に取り組み、全労連女性部は、全国各地でその行動に参加しています。

76年前の12月8日、無謀なアジア太平洋戦争が開戦されました。その歴史を振り返りながら、「赤紙1枚で、人生が断ち切られ、戦争に動員された時代を繰り返してはならない」「再び戦争を起こさない」「9条守ろう」と訴えました。都内では、日本母親大会と東京母親大会が有楽町マリオン前とJRお茶の水駅前の2か所で、赤紙（招集令状）を印刷したチラシを配布しながら、9条改憲NO！3000万署名をとりくみました。

12.8平和を守る母親全国連鎖行動・赤紙配り in 北海道



12月8日、「自衛隊の海外派兵へ反対！憲法の平和原則を守る女性連絡会」は猛吹雪の中、赤紙を配りながら、平和のリレートークを行いました。

道労連女性部の小田島佳枝女性部長は、「戦後70年以上、日本は海外の戦争で誰1人殺すことも殺されることもありませんでした。それは、戦争放棄を誓った憲法9条が、私たちを守ってくれたからです。ところが今、安倍首相は憲法9条を変えて、日本を再び戦争する国にしようとしています。『自衛隊を憲法に書くだけだから何も変わりません』と安倍首相は言います。しかし、安保法制によって集団的自衛権の行使が可能となった自衛隊が、海外で無限

に武力行使することが可能になってしまいます。衆参ともに憲法『改正』の発議が可能になっています。『私には関係ない』と思っているうちに、取り返しのつかないことになっている、そんな後悔は絶対にしたくありません。」と訴えました。

道医労連の鈴木緑委員長は、「1941年、全国には4858カ所の病院がありました。しかし、終戦後には645カ所に激減していました。戦争は国内の医療提供体制を壊滅状態にしたのです。さらに、医師、看護師が大量に戦地に送られ、尊い命を落としました。私たち日本医労連は、1957年に結成し、『再び白衣を戦場の血で汚さない』をその基本に据えました。戦争への道を突き進むとき、否応なしに医療や福祉が切り捨てられます。今朝の新聞では、生活保護支給額の引き下げが報じられ、医療現場の労働が今より一層過酷になる診療報酬の引き下げや、医療・介護を受ける人の自己負担増などが連日報道されています。国民を戦争に巻き込む準備が着々とすすめられています。私たち医療従事者は、国を守るためと信じて従軍看護師として戦場に行った悲しい歴史を二度と繰り返したくありません。憲法9条改悪に反対し、日本を再び戦争する国にしないために、今、声をあげましょう」と訴えました。

吹雪にもかかわらず、多くの方が赤紙を手に取り、熱心に目を通していました。

【道労連女性部ニュースから抜粋・要約】

～9の日宣伝・3千万人署名行動～ 国公労連は西新橋で宣伝



中央単産はそれぞれ、全教は四ツ谷駅前、自治労連は巣鴨駅前、医労連は入谷駅前、生協労連は代々木駅前などと担当を決めて宣伝行動を進めています。国公労連は12月11日の昼休みに西新橋交差点において、「安倍9条改憲ノー」「憲法を守り、いかそう」の宣伝と3000万人署名行動を実施し、国公労連、各単組から20人が参加しました。

最初に弁士に立った全労働の南書記次長（写真右の右側）は、次期通常国会で、長時間労働の是正とは真逆の「働き方改革」が提起される一方、「憲法改正」が注目されているが、とりわけ憲法9条をどう守っていくのかが大きな焦点になっていると強調しました。また、初めて核兵器禁止条約が採択されたことやICANがノーベル平和賞を受けたこと、辺野古新基地建設の反対運動などにふれながら「平和を求める声を上げていきましょう」と訴えました。



続いて、全司法の中矢委員長（写真下）は、安倍首相が総選挙翌日の10



月23日の記者会見で自民党が改憲を公約として盛り込んだことに言及し、速やかな国民投票、2020年に「改正」憲法施行スケジュールを念頭に、動きを加速させていることにふれ「その最大の狙いは、現行の9条はそのままで、3項（又は9条2項に追記）として、自衛隊の存在を明記することだが、そうした改憲を行えば、集団的自衛権を容認した安保法制を事後的に憲法で追認し、9条2項が空文化してしまう」と強調しました。

最後に国公労連の中田書記は、安倍首相は森友・加計問題などにみられるように国政を私物化した上に、疑惑の追及から逃れるために憲法の定めを踏みにじってはばからず、そもそも憲法を語る資格がないと述べ、「変えなければならないのは、憲法ではなく、憲法を踏みにじる安倍政治です」と締めくくりました。

【国公労連速報より】

9の日宣伝街角の声

- ・新婦人の事務所の原爆パネルを見ていて心うたれるので子どもも連れて行って見せたといって署名してくれた（40代女性）
- ・通り過ぎた後「憲法9条・・・」と言っているのを聞いて戻ってきて、「憲法変えるなんて聞いていない。とんでもない」と署名（40代・ミュージシャン）
- ・「憲法に関心ある。変える必要ないと思います」と署名（男性・留学生）
- ・「憲法を変えたほうがいいという漫画を読んだ。よくわからないので考えたい」と言ってチラシを持ち帰る。（10代女性・学生）
- ・シール投票をしてくれた2人「9条に自衛隊を書き込んで変わらないわけないよね」
- ・「憲法は誰が守る？うーん、わからない。微妙だわー」と。対話のあとで「ありがとう」と言ってチラシを持ち帰った。



安倍9条改憲NO! 憲法を生かす社会をつくろう 3000万人署名成功めざす交流集会

日 時:2018年1月27日(土) 11:00～16:00

会 場:日本教育会館 8F 第一会議室

記念講演:自民党改憲案の問題点を斬る

講 師:清水雅彦氏(日本体育大学憲法学教授)

資 料 代:500円

主 催:戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター

U R L:<http://www.kyodo-center.jp/?p=3781>